

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 28 日

新潟市長様

提出者

住所 新潟市中央区美咲町1丁目23番51号

北栄建設株式会社 新潟支店

氏名 支店長 若杉 繁之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-285-2172

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北栄建設株式会社 新潟支店
事業場の所在地	新潟市中央区美咲町1丁目23番51号
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	資本金 1億円
③ 従業員数	24人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙第1面のとおり」

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「別紙第2面のとおり」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	排出量	23.10 t	4.00 t	0.60 t	0.11 t	1,184.00 t	2.73 t	
	産業廃棄物の種類							
	排出量							

(これまでに実施した取組)

- ・設計通りに抑える
- ・産業廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用する。

【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	排出量	25.00 t	4.00 t	1.00 t	1.00 t	1,200.00 t	3.00 t	
	産業廃棄物の種類							
	排出量							

(今後実施する予定の計画)

受注する工事内容、量などにより各種類の発生量が変動するため削減の予定は立てにくいですが、これまで実施してきた取り組みに加え工法の改善などによって発生量の抑制を実施したい。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	廃棄物の処理方法別にそれぞれ分類する。							

② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	行政との連携、業界のネットワークを活用し再資源化への推進と再資源化を前提にした現場内の分別収集を行う。							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

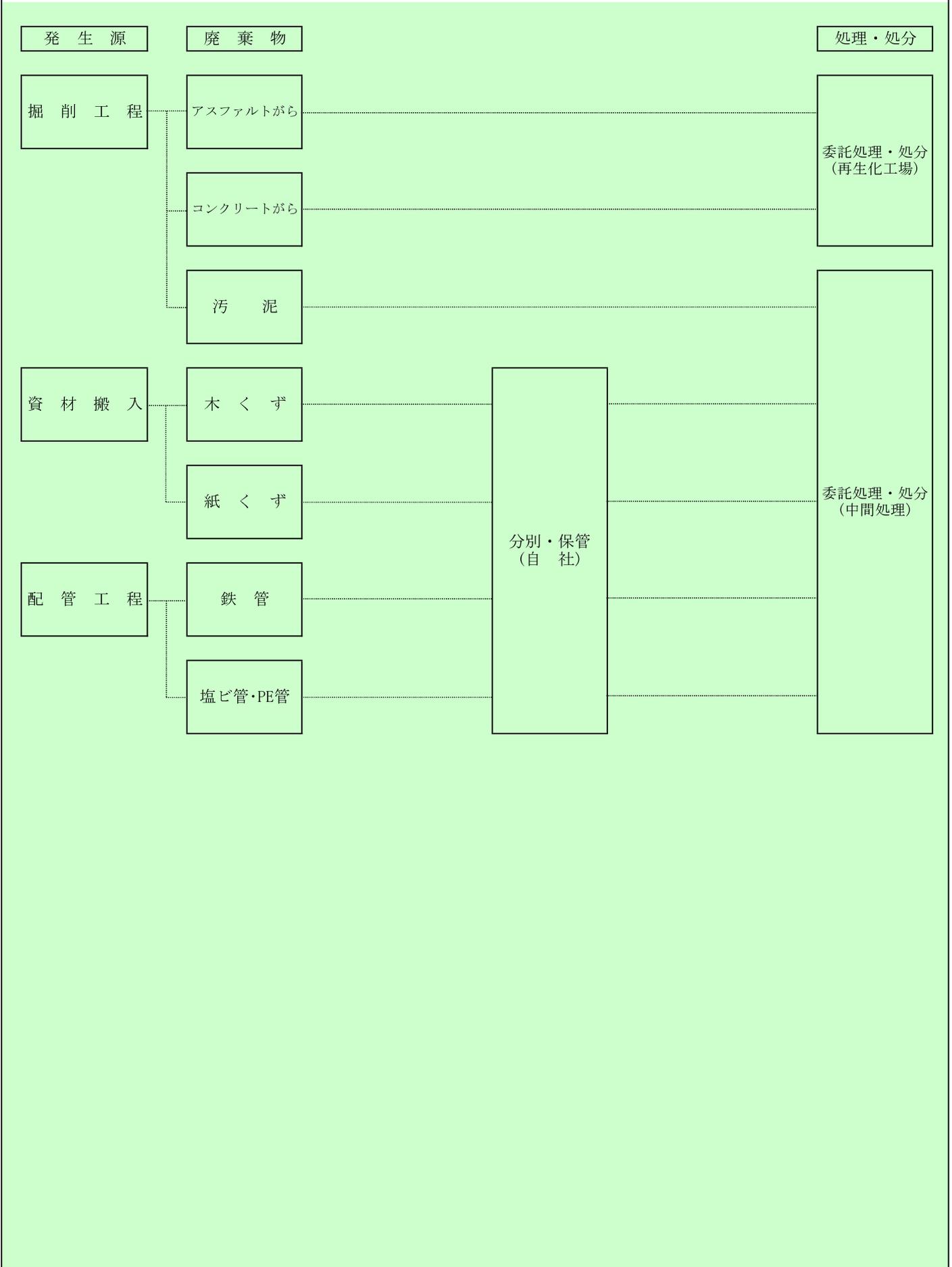
【前年度（令和5年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	全処理委託量	23.10	t	4.00	t	0.60	t	0.11
優良認定処理業者への処理委託量	22.00	t	4.00	t	0.60	t	0.11	t
再生利用業者への処理委託量	23.10	t	4.00	t	0.60	t	0.11	t
認定熱回収業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合	
	全処理委託量		t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
<p>産業排気物の処理責任が自らあることを十分に認識するとともに、建設リサイクル法及び廃棄物関連法令に関する趣旨を従業員に対しても周知することにより、主体的な取り組みを促進する。</p> <p>また、産業廃棄物の処理を処理業者に委託する場合は、収集運搬から処分に至るまでマニフェストにより確認し、的確に管理する。</p> <p>さらに、下請業者の廃棄物の排出は元請業者が排出業者となることから排出事業者としての処理責任を果たす。</p>								

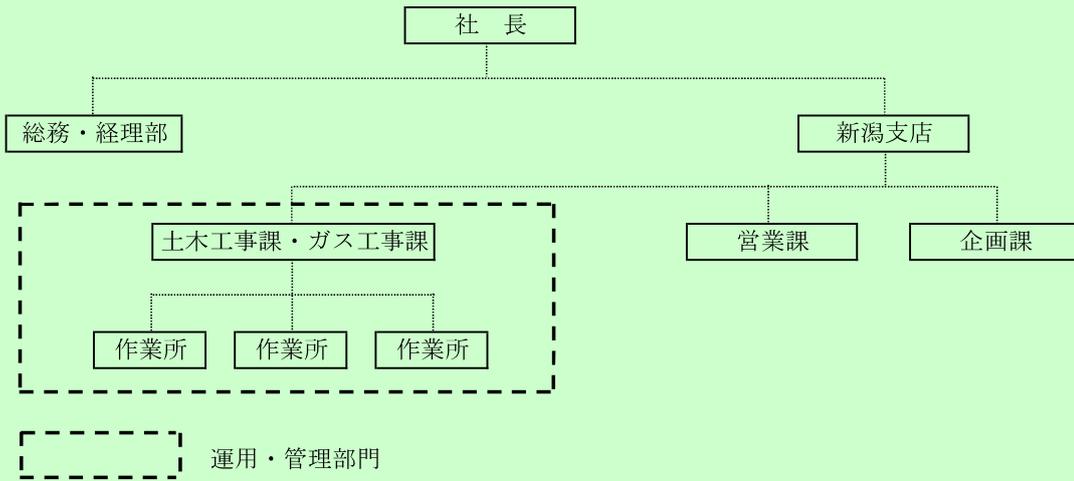
【目標】										
① 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	がれき類	混合			
	全処理委託量	25.00 t	4.00 t	1.00 t	1.00 t	1,200.00 t	3.00 t			
	優良認定処理業者への処理委託量	12.50 t	2.00 t	0.50 t	0.50 t	600.00 t	1.50 t			
	再生利用業者への処理委託量	25.00 t	4.00 t	1.00 t	1.00 t	1,200.00 t	3.00 t			
	認定熱回収業者への処理委託量									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	産業廃棄物の種類									
全処理委託量										
優良認定処理業者への処理委託量										
再生利用業者への処理委託量										
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
(今後実施する予定の取組)										
産業廃棄物の発生量は受注量によって左右されるので、再生品の積極的利用及びマニフェストの管理の徹底を目標とする。										
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 1 面 産業廃棄物の一連の処理の工程 について





産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	支店長 若杉 繁之	提出者の住所	新潟市中央区美咲町1丁目23番51号 北栄建設株式会社 新潟支店
事業場の名称	北栄建設株式会社 新潟支店	事業場の所在地	新潟市中央区美咲町1丁目23番51号
内容年度	年度		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
汚泥	現状 計画	23.10 25.00					23.10 25.00	22.00 12.50	23.10 25.00		
廃プラスチック	現状 計画	4.00 4.00					4.00 4.00	4.00 2.00	4.00 4.00		
紙くず	現状 計画	0.60 1.00					0.60 1.00	0.60 0.50	0.60 1.00		
金属くず	現状 計画	0.11 1.00					0.11 1.00	0.11 0.50	0.11 1.00		
がれき類	現状 計画	1,184.00 1,200.00					1,184.00 1,200.00	2.00 600.00	1,184.00 1,200.00		
混合	現状 計画	2.73 3.00					2.73 3.00	2.73 1.50	2.73 3.00		
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合 計	現状	1,214.54					1,214.54	31.44	1,214.54		
	計画	1,234.00					1,234.00	617.00	1,234.00		